

研究主題

ICT の活用を通して、
すすんで学び合える児童の育成

日 時 令和4年6月8日（水）
第5校時 13：40～14：25
対 象 第3学年1組 25名
授業者

1、単元名 「こん虫を調べよう」（東京書籍）

2、単元の目標

昆虫を探したり育てたりする中で、周辺の環境や体のつくりに着目して、それらを比較しながら、生き物と環境との関わりや昆虫の体のつくりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生き物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。

3、単元の評価規準

| （ア）知識及び技能 | （イ）思考・判断・表現 | （ウ）主体的に学習に取り組む態度 |
|----------------------------------|--|--|
| ①生き物は、周辺の環境と関わって生きていることを理解している。 | ①生き物と環境との関わりについて、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 | ①生き物と環境との関わりや昆虫の体のつくりについての事象・現象にすすんで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 |
| ②昆虫の成虫の体は頭、胸及び腹からできていることを理解している。 | ②昆虫の体のつくりを観察し、結果を考察したり表現したりしながら問題を解決している。 | ②生き物と環境との関わりや昆虫の体のつくりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 |

4、研究主題に関わる児童の実態と、ICT活用の具体的な手立て

（ア）児童の実態

3年生になって、理科や総合的な学習の時間にモンシロチョウやアゲハ、トンボ、カイコなどの幼虫を育ててきたことで、昆虫への関心が高まっているが、体のつくりを正確に想起することは難しい。そこで、「昆虫の体のつくりは、どのようになっているのだろうか」と問題を設定し、調べる。

タブレットは、タッチパネルの操作や数字入力をしながら、ミライシードのドリルパークに取り組んだり、社会科の授業で、地図コンテンツでの拡大、縮小、移動したりして活用している。

（イ）ICT活用の工夫や意図

本時では、デジタル教科書を活用して、児童がタブレットで昆虫の写真を拡大したり回転させたりしながら、自主的に学べるようにする。単元を通して児童に親しみのある昆虫を扱うが、実際に詳しく観察した経験は少なかったり、実際に昆虫を捕まえても、動いてしまったり細かい部分までは見えにくかったりすることが予想される。そこで、一人一人がデジタル教科書を使うことで、気になる部分を拡大したり、分かったことをワークシートに書き込んだりしながら、より主体的な学びへとつないでいきたい。


また、他の昆虫のイラストコンテンツや、昆虫以外の虫についての動画資料など示しながら、学習内容をより深く定着させていきたい。

5、本時の展開

(1) 本時のねらい

昆虫の体のつくりを観察し、結果を考察したり表現したりしながら問題を解決する。

(2) 本時の展開

| | | |
|-----------------------|---|---|
| 時間 | 学習内容（学習活動） T：教師の発問 C：予想される児童の反応 | 指導の工夫 ★観点 CTの活用・工夫等 ○指導上の留意点 ◎評価基準（観点） |
| 導入 | 1、前時の内容を確認し、問題を設定する。【10分】 C：アリのからだは、頭、胸、腹の3つの部分に分か れていた。 C：アリの胸の部分から6本の足が出ていた。 T：「昆虫といえば」のランキングを見て、気付いたこ とはありますか。 C：カブトムシもアリと同じように足が6本あります。 C：ダンゴムシの足は、14本あります。 問題 昆虫の体のつくりは、どのようになっているの だろうか。 T：どうやって調べればいいでしょうか。 C：デジタル教科書で調べたらいいと思います。 | ★教材・課題把握 前時に描いた「アリのからだのつくりの予 想」や、調べて書いた結果のワークシートを テレビモニターに映して示し、前時の学習を 想起させる。 ○アリが昆虫だったことをおさえる。 ○昆虫だと思っていた生き物のからだのつく りが、アリとは違うことに気付かせる。（ク モ、ムカデ、カタツムリ等） ○前時でデジタル教科書を使用する。 |
| できごと | めあて （デジタル教科書を使って）昆虫のからだのつくりを調べよう。 | |
| 展開1 | 2、デジタル教科書のコンテンツ（81ページ）を使 用し、アキアカネ(トンボ)、ショウリョウバッタ、 モンシロチョウの体のつくりを観察する。 【10分】 3、アリと同じからだのつくりか考える。【10分】 C：トンボもからだを3つの部分に分けられる。 C：バッタのからだは、分かりにくかった。 C：チョウも足が6本、胸の部分から出ていた。 C：他の昆虫の体も3つに分けられると思います。 | ★表現の手段 デジタル教科書の、昆虫の写真を拡大、回転 できるコンテンツを使い、昆虫の体のつくり を調べさせる。 ★協働・協議 テレビモニターに、デジタル教科書や児童の ワークシートを映しながら、担任や児童が説 明する。 ◎昆虫の体のつくりを観察し、結果を考察した り、表現したりしている。（イ-②） |
| 分 か つ た | まとめ ・虫は、昆虫とそうでない虫に分けることができる。 ・昆虫の成虫の体は、頭、胸、腹の3つの部分に体が分かれ、胸には6本の足がある。 |  |
| 展開2 | 3、デジタル教科書のコンテンツ（82ページ）を使 用し、カブトムシの体のつくりを確かめる。 【10分】 | ★表現の手段 デジタル教科書の、昆虫の頭、胸、腹の部分 が色分けされるイラストコンテンツを使っ て、昆虫の体のつくりを確かめる。 |
| 確 か め た い | | |
| 終末 | 4、学習感想をワークシートに書く。【5分】 | ○感想を交流させる。 |